

# Narashino International Association



## NIA SQUARE ファウエア

Quarterly News

### 第80号

2007年12月1日  
習志野市国際交流協会

#### ◆協会では今

- 市民カレッジで講演  
初めての試み—M & M Tour体験記

#### ◆姉妹都市通信

Cookihng Exchange

#### ◆世界のニュース

中国桂林を旅して

#### ◆ユースの活動

#### よろしく

#### ◆読者の広場

#### ◆チャレンジ

英語スピーチコンテスト

こんにちは・コンニチハ

ステキな広報お願いします

ザ・英文クロスワードパズル  
数字でとらえる「日本と世界」

## 協会では今／石川理事、習志野市民カレッジで講演

去る9月22日（土）、消防庁舎で習志野市民カレッジ一般教養講座の合同講義が開催されました。市民カレッジ学長・荒木勇習志野市長の要請を受けて、当協会理事・石川澄郎広報部会長が講演をされました。

会場の消防庁舎講堂は、約200人の参加者で熱気にあふれ、関心の高さが伺えました。



当協会からも4人が参加する機会を得ました。その中の一人、日本語学習部会の青木敬三氏から、この講演会についての感想を寄せていただきました。

### 石川理事の「習志野市の国際交流について」の講演会を拝聴して。

青木 敬三

講演の行われた消防会館会場には、現在市民カレッジで学んでおられる壮年学生の皆さんのが熱気であふれていた。その方々を前にして、習志野国際交流協会の石川澄郎理事は時流に合った「国際化へと変貌する習志野市」

国際交流について」緻密なデータをもとに具体的にお話された。

現在市民の約70人に一人が外国人にあたるというのだ。その方々への生活の支援、人権の保護（「内なる国際化」）にどう市民が対応していくか、何ができるのかということが今日の主題であった。

まずは、「世界における日本を知る」ということから始まった。今の日本の国力、経済力、国際社会への貢献度合いなどをご説明された。

石川理事は1985年からタイ政府に招かれ現地の日本語教育のために渡航され、爾来現地の日本語教育にそして日本・タイの国際親善に心血を注いでこられた。新しい世界、しかし文化・生活習慣の違いから毎日がワクワク・ドキドキの世界であったとお聞きしたことがある。日本ではどこでも飲める水道水。また、まだ比較的安全と言われる日常の生活環境など具体的な体験談を講演に織り交ぜてされるお話は、私たちにとって未知の世界のことであり実に貴重であった。

共生、と言われて久しい。ごみの捨て方から銀行口座の開設の仕方など外国からの人たちにとって異国で生活すると困ることが多い。親切であると同時に外国人には不親切な世界も広がっている。市民カレッジの学生の方々は今回の講演を通し身近なこととしてこの問題を捉えられたのではないだろうか。

この日の講演を拝聴できたこと、そして石川先生の聲に接することができる幸運を感じたひと時であった。

# 初めての試みーM&M Tour体験記

実行委員長 勝又 陽子

2007年秋、わが習志野市と姉妹都市関係にあるタスカルーサ市のアラバマ大学からかねて打診のあった「おとのための語学研修」旅行がついに実現した。



出発直前 心はすでにアメリカへ！

高校生の交流は両市が隔年で行ったり来たり、実績を積んでいるが、なにしろ「おとの研修」は初めてで、何もかもが手探り状態である。

そこで実行委員会を作り、準備を進めていくことになり、まずは、昨年の市民訪問団に加わって大学を訪ね、ELIのアン・ラモス教授や姉妹都市委員会のリサさんにお会いするところから、この企画は動き出した。

さて、実際の旅行は10月4日から12日まで7泊9日で実施されたのだが、6月の参加者募集の段階から私たちは慌てることになった。

昨年の姉妹都市20周年記念市民訪問団を募集した時は、希望者多数で抽選になったのに対し、今回は定員を割り込むほど。どうやら「語学研修」と「事前研修」が「なんだか窮屈そうな旅行ね！」とみなさんに二の足を踏ませたらしい。

結果的に少人数だったことが幸いして、全員がホームステイし、きめ細かい市民交流を体験できたことは、初回としてはよかったですとも言えるが、今後につなげるためには、募集段階でいかに魅力的なプランを提供できるかが大きな課題だと痛感したのである。

M&M Tourとは、アラバマ大学がこの企画をつけた名前である。二つのMはマグノリアとモッキングバードを意味している。街のどこでも見かけるマグノリアの木は泰山木に似た芳香性の白い花をつけるが、この時期、花は終わり、こぶし大の花芯がそのひだに赤い実を蓄えていた。

一方モッキングバード、こちらは北米のこの地域だけに棲む。マネシツグミという名の通り、物まね上手なこの鳥は、日本で「アラバマ物語」と訳されたハーパー・リーのベストセラー小説 “To kill a Mockingbird” (1960年) から取られている。グレゴリー・ペック主演のアカデミー賞受賞映画としてご記憶の方も多いのではと思う。

著者の少女時代。信念に基づき、人種差別と戦う弁護士の父親像と、1930年代の閉鎖的ないなか町に起きた事件を子供の視点から描き、地味だが、人種問題に正面から向き合った「アメリカの良心」として映画ともども大きな評価を得ている。

このふたつのMが、アラバマ州とタスカルーサ市を象徴している。この国では、映画に限らずおよそ表現活動と呼べるものには大抵人種問題が関わっている気がするが、ことに南部は、私たちのような外部の人間にそれを感じさせる。

この地を訪問するにあたって、私たちは今回、映画「アラバマ物語」を鑑賞し、また、公民権運動に関して起きたさまざまな事件やその経緯をひと通りではあるが、学習して出かけた。しかし、実行委員の意図と参加者の意識にどれほどの接点があったのか、今もって不明な部分はある。

ただ、ホームステイでの思い思いに工夫をこらした交流や、クッキングクラスなど市民交流の現場での実際の英会話体験は、何ものにも代えがたいほどの貴重なものだったと、参加者全員に感じてもらえたことが、私たち企画者にとっての成果である。



ホームステイ先のワトキンス夫妻と  
ツアー当日。関係者のみなさんとの見送りを受けて成田を発ってから、13時間近く狭いシートに座り続けてジ

ヨージア州州都アトランタへ。更に国内便に乗りかえ、  
バーミングハムで先方の出迎えを受け、パンに分乗して  
1時間後、私たちはやっと最終目的地にたどり着いたの  
だった。

辺りはすでに夕闇に包まれ、マグノリアの大きな葉が  
黒い影を落とす中、ホストファミリーとの出会いの場で  
ある築後200年は経とうかというジェミソンマンション  
も灯りと影に彩られていた。

人口の8割を黒人が占めるこの市では、ごく限られた  
裕福な家庭が姉妹都市委員会に協力する形を取っている  
ようで、ステイ先はすべて白人家庭。秋のこの時期は、  
Home coming day と呼ばれる行事にあたっていて、姉妹  
都市委員会では協力者を探すのに苦労したらしい。

私たち実行委員のふたりはたった3泊4日の間に2つの  
家庭を移動することになった。

最初のステイ先はリタイアしたご主人と夫人の二人暮  
し。にぎやかな夫人とは対照的に物静かなご主人にもやは  
り南部訛りがあり、彼の小声と当方のレベルの低さも  
あって、一瞬遅れて「えっ？ああ、あの単語ね」と頭の中  
がさながら衛星中継のようになる。



藤崎さんの踊り

友人の「趣味は何ですか？」との質問に、その歳の離  
れたご主人は「ベティー・ジョーと家族」と答えた。

なんという明快さだろうか。わが夫にそういうて欲しい  
いかどうかは別として、離婚再婚が珍しくない現代アメ  
リカ社会で、仲睦まじく寄り添うこの夫妻の姿は、私には  
「古きよき南部」の名残りのように、まぶしく感じられたのだった。

さて、2軒目のお宅もまた、リタイアしたパイロット  
と日本人の夫人との静かな家庭だった。広大なバック  
ヤードには移築した古い家屋があり、ご主人がこつこつ  
と修理改装中で「ひや～家までD I Y！」と驚いた。

また、元パイロットだけにセスナ機を所有されていて、  
私たちは雲ひとつ無い空を飛べる幸運に恵まれた。



自家用セスナ機

機が滑走し始めると、草に潜んでいたバッタが大慌て  
に飛び出す。チョウゲンボウらしき鷹が平行して低く滑  
空して行く。眼下には、一昨日Native American Festival  
を見学した公園やバマベル号でディナーを楽しんだ「黒  
い戦士」という名の川が直角に曲がりくねっていた。  
滞空時間およそ5分、あっという間の空の散歩だった  
が、今、自分の体が地上何千フィートにあるのかも実感  
できないジャンボ機のシートに比べ、なんという臨場感  
だったことか。このそう快な体験に、二人とも英語では  
言い表せないくらい興奮したのだった。

中心のイベントだったはずのクッキングクラスは使用  
できる厨房の様子がつかめていなかったために、調理手  
順がうまくいかず、今後に課題を残す結果となった。いかに簡単に作れる料理を選ぶかが重要であろう。それに比べ、南部料理は質素ともいえる伝統的な料理が供され、その味に歴史を感じられた。また、試食中、参加者の一人、藤崎さんの日舞が披露され、集まった全員が料理とともにそのパフォーマンスを楽しみ、すばらしい文化交流になった。



熱心に調理するみなさん



見事なできばえです

問3 日本に居住する外国人登録者は（ ）人を超えた。  
4日間の滞在を終えた私たちは、その後タスカルーサ市を離れ、アラバマ大学E L Iの先生の付き添いを得て、バスで見学の旅に出た。



まずはMonroevilleで映画「アラバマ物語」の撮影された裁判所を見学後、公民権運動のデモ行進が行われたEdmund Pettus Bridgeを見にセルマへ。この橋は1955年に黒人女性ローザ・パークスが白人に席を譲らなかつたとして逮捕されたことに端を発したバスボイコット事件から全米に広がっていった公民権運動のシンボルともいえるものである。

そして、一行は、今は寂れてしまった街の格式あるホテルで一泊した後、ジョージア州の州都アトランタへと、長距離移動して行った。

生きた報道現場CNN、公民権運動の象徴たる故マーチン・ルーサー・キング牧師博物館、「風とともに去りぬ」のマーガレット・ミッ切尔記念館、地球の成り立ちにじかに触れた思いのストーン・マウンテンなどいくつもの見学地を回るうち、深夜ホテルのトイレが壊れたり、バスのタイヤがパンクするなど、いくつかのハプニングにも見舞われたが、参加者全員がさまざまな収穫を



2007/10  
ストーンマウンテンにて  
アラバマ大学レルヴィアさんと

得て無事に帰国できたことが、私たち実行委員のなによりの喜びである。



バマ・ベル号でディナークルーズ アン・ラモス教授と  
今、その安堵の思いとともに、出会った人たちの笑顔  
が思い出される。



いろいろお世話くださった姉妹都市委員会専務理事  
リサ・キースさん

# 姉妹都市通信／Cooking Exchange

## Japanese-American Cooking Exchange a Treat for All!

On Sunday, October 7, 2007 members of Narashino's visiting "M&M Tour" delegation to Tuscaloosa spent an afternoon in the kitchen preparing delicious Japanese dishes for an appreciative American audience. In a joint project coordinated by the Narashino Delegation (led by Dr. Daizo Yamada, Hiroko Imai, Yoko Katsumata and Michiko Shichi), University of Alabama Xplorations program (an outreach program for community residents who wish to continue the quest for "lifelong learning") and the Tuscaloosa's Sister Cities Commission, the Japanese-American cooking exchange resulted in a friendly exchange between cultures and people during the three hour event.



真剣なまなざしで説明を聞くタスカルーサ市民のみなさん  
Christine Lewitzke, Xplorations volunteer, welcomed the 30-member group with an explanation and copies of the recipes that were featured in the exchange. Ms. Lewitzke prepared the ingredients of the Southern delicacies Grits and Sausage Casserole, Sweet and Tangy Braised Greens and Pecan Pie in the fellowship hall of Tuscaloosa's First Presbyterian Church before sending them to the kitchen to simmer and bake. Meanwhile, the Narashino Delegation got to work busily preparing the delicious steamed egg dish Chawan Mushi and hearty beef and vegetable recipe Nikujyaga with the assistance and to the delight of their new American friends. The sights, sounds and smells were wonderful!

Of course, the best part of the day's exchange was to enjoy all the delicious foods prepared. And, as an extra treat for the group, Narashino delegate Kimie Fujisaki danced two beautiful traditional Japanese dances for the group, and delegate Hiroki Baba displayed and distributed gorgeous origami she had made specifically for Tuscaloosans and the M&M Tour.

It was a day of cultural sharing that will long be happily remembered by all.

Lisa Keyes  
Tuscaloosa Sister Cities Commission

## 日本人とアメリカ人のみんなで楽しむ料理交歓

2007年10月7日、NIA 山田会長、勝又実行委員長、志知、今井と市民9名の“M & M Tour 2007”の一一行は、アラバマ大学（Ann Ramos教授）の\*エクスプロレーション・プログラム、タスカルーサ姉妹都市委員会（Lisa Keyes 専務理事）、NIAによる共同企画の日米料理交歓を楽しみ、両市民の親交を大いに深めました。

この料理交歓はタスカルーサ・ファースト・プレスピテリアン教会の調理室と共同ホールで行われました。同プログラム所属のボランティア、クリスティン・レイヴィックさんは、とうもろこしの粗挽きとソーセージの蒸し焼きの南部料理である「グリット」、さらに、「青菜の甘辛煮」、「ピカンパイ」のレシピを用意し、習志野市側は「茶碗蒸し」と「肉じゃが」のレシピを用意しました。肉じゃがと茶碗蒸しを一緒に作る際には、タスカルーサのご婦人達と習志野の主婦代表との間を、楽しい言葉がぽんぽんと行き交いました。教会のキッチンは、包丁使いの音、芳しい料理の香り、立ち込める湯気、和気藹々の会話に満ち溢れ、素晴らしい光景でした。

もちろん、この日の交流のクライマックスは用意された美味しい料理を全員で楽しんだことです。そして更なるご馳走として習志野訪問団の藤寄福代さんが民謡「りんご娘」と「佐渡おけさ」を踊ってくださいました。

また、馬場弘子さんは折り紙で豪華な作品を作り飾り、タスカルーサの参加者にプレゼントしてくださいました。

この文化交流の日は未永く、日米の参加者全員の楽しい思い出となるでしょう（リサ・キーズ専務理事）。

\*Xplorations program：生涯学習の探求を願う地域社会住民のための奉仕活動プログラム

日米料理交歓の当日を迎へ、午前中から忙しく買い物を始めた。野菜類他はほぼ希望通り揃ったのにブッチャーの牛肉の薄切りはどうしても肉じゃが用より厚くなってしまう。蒲鉾は日本ピクターの現地役員のマリさんがプレゼントをしてくださった。当日はプレスも取材に来て、教会の地下にある調理室とホールは大賑わい。

現地の皆さんのが習志野側の料理にどのように興味を持ったと想います？ “I felt very interested in the different approach to the same material.”（同じ食材であっても日米の異なる調理方法に大変興味をもちました）ですって！！ 「じゃがいもの大きさは6等分と言ってもどのくらいの大きさ？」、「一口サイズ」、「紙の落し蓋って何？何故そうするの？」、「灰汁を取るために使います」など、料理という共通の作業を通して両国の主婦は思い思いの交流ができたことは確実でした。肉じゃがは大変好評でした。さあ、私も「ピカンパイ」を作ってみようかな。レシピの欲しい方はNIA事務局へ電話くださいか、NIA websiteまで。

（姉妹都市交流部会長 今井 洋子）

問4

世界の大都市の生活費を比較すると東京は第（ ）位です。

# 世界のニュース／次期オリンピック開催国・中国の今

2008年（平成20年）、いよいよ中国でオリンピックが開催されます。報道によると、関連施設が急ピッチで造られているようです。今回は、桂林の旅を中心に、隣国中国の今の様子をお伝えしましょう。

## 中国桂林を旅して＜大自然の美と中国発展の姿＞

市内在住 長安 信明

久しぶりの中国旅行、今回は広西壮族自治区の桂林、陽朔が中心だった。（広州での乗り継ぎの間、中山紀念堂・陳氏書院を見学）



▲奇岩景勝を満喫しながらの漓江の川下り

桂林市は、風光明媚なことから日本からの観光客や広州に進出している日本企業の駐在員などの顔が多く見られる。市内に入ると、中国庶民の足、自転車の波は変わらないが、車とバイクの増加に驚かされる。

経済成長が著しい中国では、いま、教育問題が大きく取り上げられてきている。特に観光地である当地の場合、英語・日本語のできる人、海外の大学に留学した人たちは高い評価とともに高水準の生活をしている。

このような強い刺激が親に大きな影響を与え、子どもには何としても「高い教育」を考えている。

とくに日本への留学に強い関心を持っている若い人が大勢いることもよく分かった。

中国政府も大学の定員を大幅に増やしている様子であり、職業選択の自由とつながる学歴問題が強く感じられた。ここ広西壮族自治区は苗族をはじめとする15ほどの少数民族が集まっていて、就学率は56%程度で未就学者が他の地区に比べて多い。

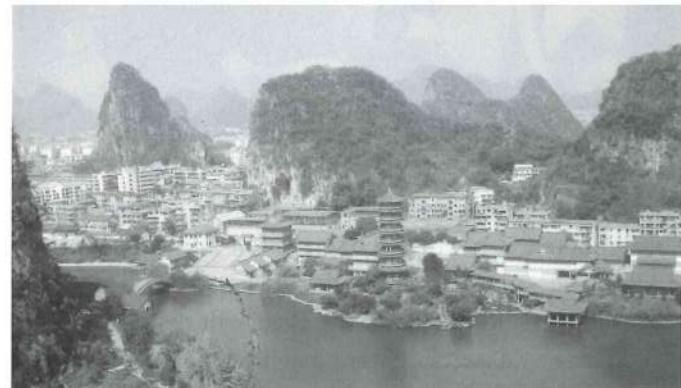
桂林市は観光収入を教育費に充当し、就学率の向上をめざし努力しているようである。

さて、多くの人が知っているように桂林は、七星景区・象鼻山・鍾乳洞のある芦苗岩（カルスト地形の山）など壮大な岩山が漓江の流れをはさんで両側に聳え、実際に見事な風景が広がる。とくに鍾乳洞は大変すばらしいもので、自信を持ってお勧めできる場所である。

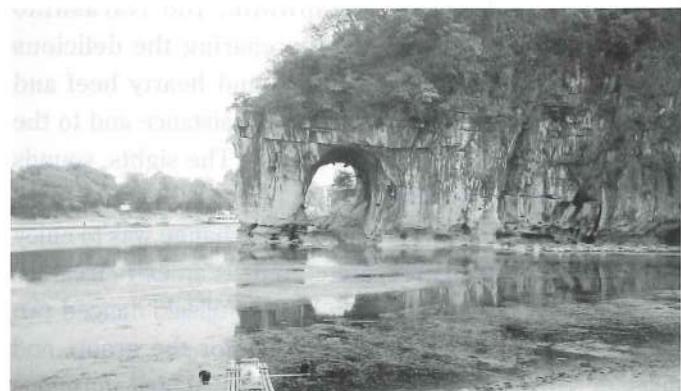
船に乗って川を下っていると、長い竹を5本ぐらい編んだ小さな筏が観光船に群がってくる。手に手に山水画や大きな扇や細工物を持ち、大声で売り込みに必死だ。生きることの厳しさが伝わってくる。



▲桂林から陽朔に向かう道すがら、観光客をめあてに並べられたザボン、みずみずしくてうまい！



▲象鼻山付近から望む街の様子



▲姿形が象のように見える象鼻岩

博物館や土産物の販売店に行くと、多くの売り子が懸命に売り込みにくる。そして、必ず来年の北京オリンピックについて熱く語りかけてくる。「来年のオリンピックには是非北京に来てください。その帰りにはまた桂林



▲陽朔の洋人街の入口

に来てください」・・・と。國を挙げて北京オリンピックを成功させるという全国民参加の雰囲気が強く伝わってくる。昭和39年の東京オリンピックの日本と同じだと感じた。



▲便利店

一方、急成長に伴う「負の部分」にも目がいく。大気汚染に代表される各種の公害、交通量の急激な増大水質の悪化、農村と都市部の格差問題、高齢化社会が生む福祉問題、「日本が直面してきた問題」「今も抱えている問題」と同様な悩みに戸惑いを覚えた。

しかし、この国の強さ、逞しさはどこから生まれるのだろう。特に、若者たちの行動は熱気に溢れている。

日本としては、協力しながらも中国に負けないように頑張りたいと痛感した実り多き旅であった。

◎今回の旅で、日本語を完全にマスターしている中国の多くの方に触ることができたのも収穫であった。

## 桂林旅游

这次旅游，我们去了广州和桂林。

参加人是汉语班的五个同学。

### 日程

#### 十月十八日

我们坐飞机从成田到广州。

下午到达广州机场。

当天游览中山纪念堂和陈氏书院。

晚上坐飞机去桂林

住桂山大酒店。

#### 十月十九日

下漓江。漓江沿岸岩山很多，风景很美。

中途有芦笛岩。芦笛岩里有非常大的钟乳岩洞。

我们游览了洞窟。洞窟里规模宏大，风景绝佳。

#### 十月二十日

我们游览市内有名的象鼻山，叠彩山和七星公园。

晚上，我们观看了「桂林山水实景演出」。题目是「刘三姐」这场演出的编导是张艺谋。

张艺谋是中国著名的电影导演，现在在世界电影届也很有名。我看了感觉很有意思，也很受感动。

#### 十月二十一日

这次旅游的最后一天。

早上从酒店出发去机场。

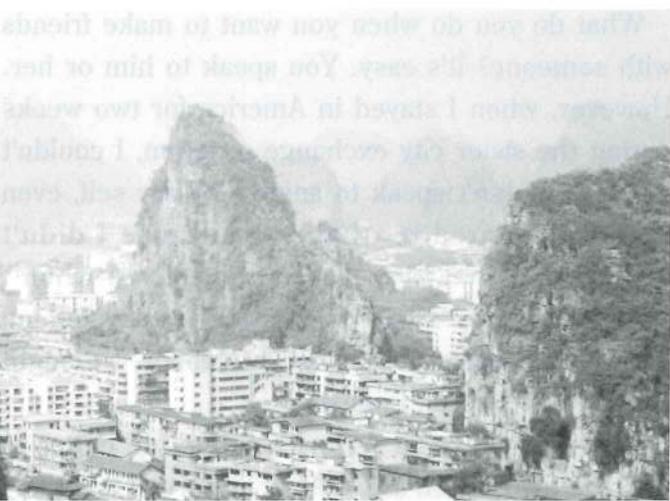
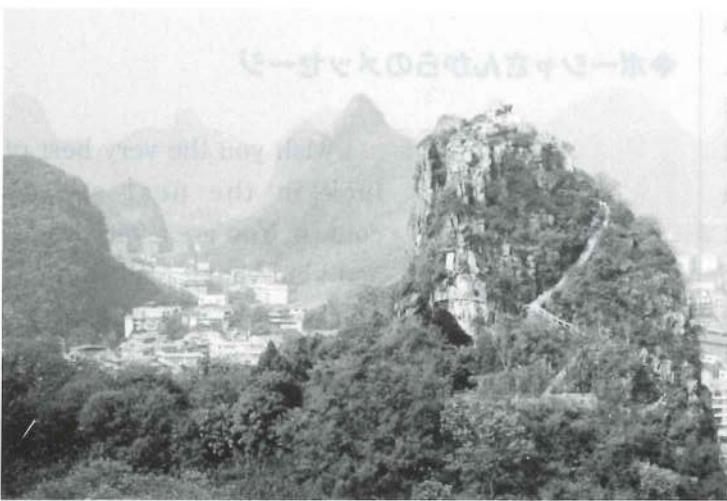
从桂林机场到广州机场。

到广州以后，朋友们买了很多礼品。

我没有钱，所以没买东西。

下午四点多，我们坐飞机回国。

晚上八点回到了日本成田机场。



## ユースの活動／英語スピーチコンテスト 次はいよいよ県大会

平成19年度・千葉県高等学校生徒英語研究発表大会の船橋地区大会が、去る10月2日（火）日本大学第中学校・高等学校で開催されました。この大会に青少年部会の細根翔平君（市立習志野高等学校3年生）が出席し、全学年スピーチ部門で見事2位に入賞しました。この後11月28日（水）に千葉市民会館で行われる県大会に向けて準備に力を注いでいます。

テーマは、“Foreign Language”です。それでは、全文をお読みください。併せて、発音や添削などの指導をされたALTポーシャ・スティガーさんのメッセージを紹介します。

### ◆Foreign Language



Language is important. It's a tool used to connect with people all around the world. We can obtain much information which is received from abroad through TV or newspapers. And, in Japan, there are signposts written in English, Chinese, Korean, and many other languages. There are many foreigners even in this remote eastern island country. Sometimes we have chances to talk with them. Those occasions are increasing.

Communication helps us to understand each other. Most of all, conversation is the best way to relate with other people. If you can speak Korean, you are able to make Korean friends easily. If you can speak German; you can make friends in Germany. You can even travel overseas by yourself without a tour guide or interpreter.

On the other hand, because there are many countries and languages, languages can become a barrier between different cultures. Also, it is difficult to master a foreign language. It takes a long time and a lot of effort.

What do you do when you want to make friends with someone? It's easy. You speak to him or her. However, when I stayed in America for two weeks during the sister city exchange program, I couldn't do so. I couldn't speak to anyone by myself, even though I wanted to, that was because I didn't understand what they were saying. Even when I stayed at my host family's house I was shy and not confident enough in my English abilities. I thought myself, I can't speak English.

My experience in America made me eager to improve my English skills. After I returned to Japan I

worked hard to speak English whenever I could. I learned words to expand my vocabulary. Often, I would watch American TV shows. I also went to places where there were many English speakers. Of course, in time, my English became better.

Now, I can discuss many topics with people in English much better than I could before. I have even made some friends who only speak English. I will surely continue to study, even though I didn't like my usual English class, because there is no conversation.

Nowadays, English is the most commonly used language in the world. According to recent statistics, almost 2,000,000,000 people speak it as a native, official, or foreign language. As you know, many Japanese students are learning it at school. That was the first reason I started to study English. Now I am learning English and French because I'd like to talk with many people in the world and some friends in Japan.

In the future, I wish to teach Japanese or English-abroad. I've had many great experiences through learning English as a foreign language. I'd like to help people who need to work outside of their own country, and who are interested in other cultures.

The key to open the door of the world is language. And the key that opened my door was English.

### ◆ポーシャさんからのメッセージ



I wish you the very best of luck in the next speech contest. You are a very bright and kind young man who has worked hard in pursuit of your dreams. I know that you will continue to strive for excellence in all that you do in the future. Good luck!

Porscha

# よろしく／こんにちは・コンニチハ

山口 大二郎（通訳・ホームステイ部会）



NIAに参加してから1年、今年より通訳・ホームステイ部会長を引き継ぐことになりました。  
従来海外に出かけ現地のことを知る機会が多くだったので、リタイヤ後はその体験を国際貢献に生かすことが出来たらと考えておりました。

昨年姉妹都市提携20周年記念に参加する機会を得、タスカルーサではホームステイ初体験が出来ました。以来外国語を通して多くの方々と知り合うことになり、色々な活動に参加しております。その一つCHAT de ALTでは、毎月曜日ALTの先生方と楽しい時間を共有しております。

今年度は部会としての特別な行事はありませんが、次年度は忙しくなりそうです。

これからもホームステイ等での皆様方の協力をお願ひいたします。

## ALT紹介

ALT (Assistant Language Teacher) は、現在習志野市に7人います。市立中学校が7校あり、それぞれ3つの中学校区の英語学習指導を担当しています。今回紹介するスティーブンさんは、二中・五中・六中を、ジェニファーさんは三中・六中・七中を担当しています。また、ALTのみなさんは、NIAスクウェア第78号で紹介したように、通訳・ホームステイ部会が行っている毎週月曜日のCHAT de ALTにも参加していただいている。

Stephen Standen (スティーブン・スタンデン)



Hi ! I am Stevie from England. I have been living in Shibuya・ku for the past 4 or so years and I am really enjoying my life tremen-dously in Japan. My interests and hobbies are listening to and composing music, writing, eating out, picnic in the park, playing soccer, juggling, optical illusionx, collecting vinyl records, Miffy, 1960s and 70s fads and fashions, puzzles, playing my guitar, and meeting and making friehds with new people, Feel completely free to talk with me about anything and everything at any time.

これから宜しくお願ひ致します。

Jennifer Colleen Routts (ジェニファー・クット)



Hello, my name is Jennifer. I'm from Calgary, Canada, home of the greatest outdoor show on Earth 'The Calgary Stampede a Exhibi-tion. Calgary also hosted the 'Winter Olympics' in 1988, the first city to turn a profit from hosting the games. It's home to over a million people, but still has that small town mentality.

I came to Japan almost a year ago and I have had an amazing experience so far. I came to Japan to experience and understand the culture. I'm very intrigued to see how other cultures and countries live their day to day lives. I'm an ALT for the city of Narashino Jr.High Schools. The students are a pleasure to work with and they make my job enjoyable. I am sure that I will continue to enjoy my stay in Japan and meet many more goat people. Thank you.

# 読者の広場／ステキな広報お願いします

かいいん かた しょうがくせい ちゅうがくせい こうこうせい  
会員の方をはじめ、小学生や中学生、高校生からもこのNIAスクウェアを読んで感想や貴重なご意見を寄せて  
いただきました。これからもこの広場が、皆様の意見交換の場・ふれあいの場になるよう、より一層充実したものにし  
ていきたいと考えています。

## 「数字で捉える日本と世界」のクイズに挑戦して

### ◆佐藤由果子さん（藤崎・小学生）

今回のクイズは、とても難しかったです。本で調べたり、パソコンで検索したりして、解きました。特に、問5の石油の消費量の順位が、難しくて大変でした。お父さんも一緒に考えててくれて、なんとか全部の答えをうめることができました。世界のことがいろいろ分かって、とても勉強になりました。次回も、楽しみにしています。



## 英文クロスワードパズルに挑戦して

### ◆城島瑞希さん（谷津・小学生）

お父さんと一緒にしました。ほとんどお父さんがやってくれたけど。

### ◆阿部聰美さん（秋津・中学生）

習志野市国際交流協会設立20周年というのはすごいと思いました。これからも友好の輪が広がっていけばと私も思いました。

### ◆柴田麻子さん（藤崎・中学生）

学校で配布され、読んでいたのですが、今回は英語研修派遣の方の感想文が載っていたので、うれしくなって応募しました。というのは、私の同級生2名の作品が載っていたので、その延長でいろいろと読みすすめて、改めて内容を知りました。これからもステキな広報お願いします！

### ◆渡辺直樹さん（大久保・中学生）

僕は英語が好きです。英語で話したり、書いたり読んだりすることにとても興味があります。なので、これからもNIAスクウェアを読んでいきたいと思っています。

### ◆岡本瑞希さん（屋敷・中学生）

毎回読んでます☆ 何回かクロスワードにチャレンジしていたのですが、今回初めて出来ました!! また、私はタスカルーサの英語研修派遣に参加したので、自分の感想が載っていて、感激でした。これからも楽しみにしています。

### ◆Taketoさん（鷺沼・中学生）

僕もタスカルーサに友人やクラスメイトが行っており、その話や本誌の感想の抜粋を読み、行くべきだったと後悔しました。

### ◆穴澤将也さん（東習志野・中学生）

今回初めて応募しました。クロスワードは難しかつたけど、楽しかったです。

### ◆篠塚愛未さん（藤崎・大学生）

今年はNIA創立20周年記念だったですね。私が生まれる前から国際交流を積極的に行おうという組織が習志野市にあったとは驚きであるとともに誇りですね！

### ◆岩間敏男さん（千葉市・自営業）

世界各地の豊富な情報の伝達、関係者の意見・声を細かく掲載しており非常に勉強になります。

### ◆美濃律子さん（谷津・主婦）

協会設立20周年おめでとうございます。20年とは、子どもが誕生し、成人式を迎える年月です。協会の皆様のご努力のたまものだと思います。「スクウェア」紙も次回は80号、なお若返るとか。ますます期待いたします。図書カードありがとうございました。

### ◆柴田一子さん（藤崎・主婦）

初めて応募いたします。毎号チャレンジしているのですが、かたくなった頭ではなかなか解けず、途中でやめしていました。今回は少し頑張ってみたら解けたので達成感がありました。

### ◆林澄人さん（船橋市・委嘱公務員）

前回のパズルでは、初めて当選させていただきました。ありがとうございました。いただいた図書カード、有効に使わせていただきます。

第79号には、シアトル通信が英語で書かれており、辞書を引きながら、まだ見ぬ国や市のことを興味を持って勉強しております。ワシントン州に首都ワシントンがないこと。ワシントンの東側と西側での施設・設備・景観が違うこと。ワシントン州第二の都市がスポークスアンド・タッセーのこと等を知りました。いつも英語での情報をうれしく拝見させていたたいております。

# Information／楽しいお知らせ

## ●「速報！！ さくらまつり俳句コンテスト催開催！！！」

アラバマ大学主催の俳句コンテスト日本語部門の再開催が決定しました。その経緯につきましては、次号のスクウェアで詳しく説明いたします。

来年のさくら祭り俳句コンテストの応募要領は下記の通りです。皆様の応募をお待ちしております。

記

### 1. 俳句の部《アラバマ大学主催》

(1) 季語：「Mirror」「鏡」

(2) 募集部門：小1～3・小4～6・中高校・成人の4部門

(3) 表彰：部門別に1位～4位の入賞者に、アラバマ大学から賞状及び賞金が授与されます。

5位の入賞者には賞状が授与されます。

(4) 留意事項：

①作品は未発表のオリジナルに限り、1人1句応募できます。

②季語にこだわらなくても構いませんが、季語の反映が入選基準のポイントとなります。

(5) 応募方法：平成20年1月末日までに、NIA事務局へ作品をお届けください。応募用紙は、別添の書式を印刷してご使用ください。

## ●クリスマスパーティー（青少年部会主催）

もうすぐクリスマスですね！今年も青少年部会では毎年恒例のクリスマス会をやります。楽しいゲームやプレゼント交換を行う予定です。おいしいケーキやおかしもあります。皆さん奮ってご参加ください。

・日 時 12月8日（土） 午後2時～午後4時

・場 所 習志野市国際交流協会事務局

・参加費 300円

・その他 参加者全員でプレゼントの交換をしますので、500円程度のプレゼントをお持ちください。

\* N I A Y O U T H のちらしをご覧ください。

## ●新年もちつき大会（交流部主催）

12月に入れば、もう新年（2008年）はすぐそこにきています。新年といえばお正月。お正月といえばもちつき。そうです。今年もまた、交流部会が主催してもちつき大会を賑やかに行います。

みなさんで協力して餅をつきます。お汁粉やお雑煮をつくり、楽しく会食します。

・日 時 平成20年（2008年）1月19日（土） 午前11時～午後1時

・場 所 菊田公民館（調理室・3階会議室・庭）

・参加費 200円

・その他 別紙チラシをご覧ください。

## ●文化セミナー（文化部主催）

### 日本の礼法は・・・スゴイ

私たちの国、日本には古来より連續と受け継がれてきた無駄のない美しい立ち振る舞いの姿が息づいています。しかし、もったいないことに、現代の日本人のほとんどは自国のすばらしい生活文化を忘れてしまっています。身につけましょう日本の礼法！！すばらしい日本の文化を身につけ、次の世代に受け継いでまいりましょう。

#### ・講座A：和室のプログラム

日時 平成20年1月12日（土） 午前10時～午前12時

場所 サンロード津田沼5階和室

#### ・講座B：洋間のプログラム

日時 平成20年1月26日（土） 午前10時～午前12時

場所 サンロード津田沼6階大会議室

\*詳細は、ご案内のチラシをご覧ください。

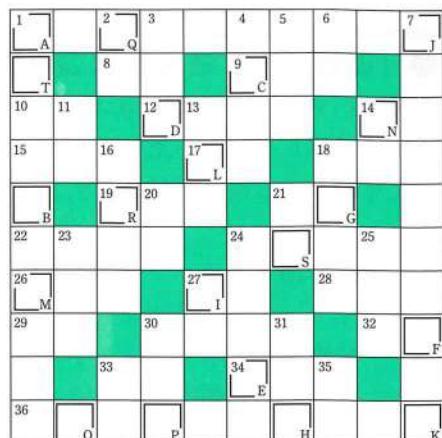
# Let'sチャレンジ／ザ・英文クロスワードパズルNo.80/プレゼント付！

## 〈Across〉

- On April 26, 1986, a Sister City Agreement was concluded between the cities of Narashino, Japan and ---, U.S.A..
- Bachelor of Arts.
- , ate, eaten,
- At a relatively short distance.
- Vermont
- A tall shade tree with gradually spreading branches.
- North Dakota
- One of the terminal digits of the foot.
- Two --- three makes five.
- Old English
- A long-handled garden tool having a crossbar with teeth or prongs.
- Play for the theater.
- The solid form of water, produced by freezing.
- , his, him,
- A piece of coarse woven or plaited fabric.
- Topographical Engineer
- To aid, to assist,
- Chemical symbol for Nickel,
- To --- or not to ---, that is the question.
- To drag or pull by a rope or chain,
- A pastime, sport, or exercise as a means to refresh one's body or mind.

## 〈Down〉

- A machine for writing in letters and characters that resemble printer's type.
- Sales-book
- She --- speaks Japanese very well.
- , led, led,
- Pole with a flat blade used in rowing.
- Old Testament
- Change, act of changing
- Deputy Lieutenant
- The extremity of anything.
- Victorian Order
- , made, made,
- A group of persons jointed together in some action or contest.
- New England
- I don't know whether it is true --- not.
- (Golf): A hole in one stroke.
- Slit-formed land at the mouth of a river.
- Adult male human being.
- Same as No.27. Across:
- She, ---. her,
- A round deep container of earthenware, metal, etc., used as for cooking.
- Before Christ
- West India



〈出題者〉 御園生 馨 (編集部)

## 〈ジャンボパズル応募要項〉

NIA設立20周年、スクウェア第80号到達を記念して、ジャンボ・パズルを作成しました。パズルを解いたあと、A-I、J-Tを夫々つなげてできたことばが正解です (Two words)。解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。解答は、ハガキ、FAX、Eメールで12月末日までにお送りください。今回は正解者全員に、NIA特製記念品をプレゼントしますので、たくさんのご応募をお待ちしています。「NIAスクウェア」編集部まで。

### 《英クロ解答 SPORT》

日本と世界解答

(問1) 192 (問2) 10 (問3) 40

(問4) 10 (問5) 3 (問6) 14

〈答え〉 269

### 《クロスワードパズル当選者》

阿部 聰美さん 岩間 敏男さん

柴田 麻子さん 城島 瑞希さん

美濃 律子さん

◇正解者は16人でした。

〈日本と世界のクイズ当選者〉

佐藤 由果子さん

## N.I.A.スクウェア・第80号

発行2007年12月1日/発行責任者・山田大三

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・石川 澄郎

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード津田沼4F

TEL/FAX 047-452-2650

<http://www1.seapple.ne.jp/nia>

<Eメール> nia@seapple.ne.jp

## 編 集 後 記

●80号をお届けします●今回からスリム化と同時に充実化を図るという難しい命題を掲げて編集に当たりました●市民の手による語学研修M & Mツアーセンター収穫大であったとのこと、参加の皆様お疲れ様でした●英クロ好評です。目立ちませんがページの余白の「世界と日本」是非チャレンジしてください●「はじめにことばがあった、ことばは神とともにあり、ことばは神であった」と聖書に書かれています。NIAは、いくつかの国の言語が飛び交うので常にことばを意識します●80号には習志野高校の細根君のスピーチコンテスト入賞を紹介しました。おめでとう！今後の活躍を祈ります。

(編集部)